

### III. 冷却ファンの交換 (M-SPS007R)

冷却ファンはその軸受けの摩耗による寿命がありますので、定期的に新しいファンに交換することが必要となります。2度目のバッテリー交換時には新品に交換することをお勧めします。

ただし、使用環境に応じて寿命が短くなる場合もありますので、早めの交換を行って下さい。

交換ファン型式	HF 5 E 2 6 7 7
---------	----------------

- ・ファンの購入方法については、お買い上げ店または保守担当会社にご相談下さい。
- ・ファンの交換費用は、お客様でのご負担となります。

#### 冷却ファン交換方法

##### 注意

- ・冷却ファンや通風孔に棒や指を入れないで下さい。  
けがや感電のおそれがあります。
- ・冷却ファンの交換は専門の技術者が行って下さい。  
感電のおそれがあります。

冷却ファンの交換方法は、装置を停止した状態で行うファン交換（コールドスワップ）となります。

#### ファン交換（コールドスワップ）手順

##### 注意

- ・感電防止のため、交換作業に入る前に以下の操作を必ず実行して下さい
  - a) 装置前面操作部の運転スイッチ⑥を操作し、装置を停止して下さい。
  - b) UPSの交流入力プラグ⑫を電源コンセントから引き抜いて下さい。  
さらにUPSの交流出力コンセント⑪⑬に接続されている負荷機器のプラグを引き抜いて下さい。(入力線からの充電防止と負荷機器側からの逆充電防止)

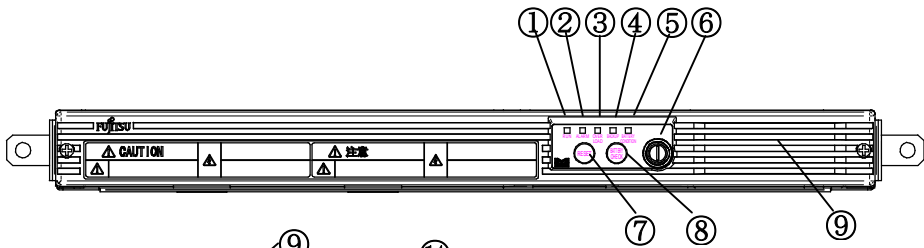
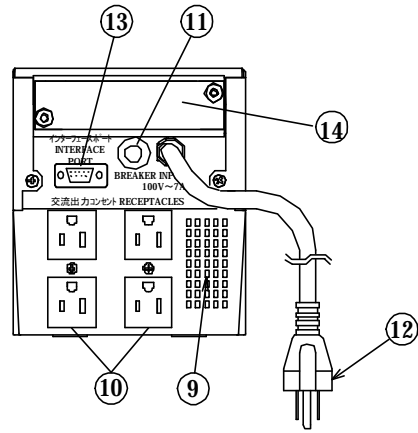
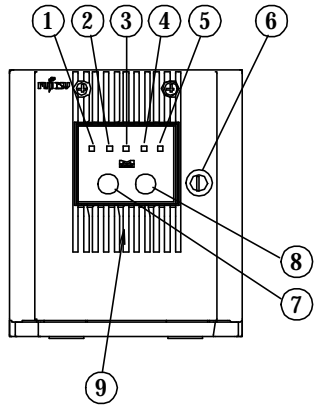
- ・14 ページを参考にしながら以下の作業を行って下さい。
  - c) 前面カバー取付ネジ⑮（2カ所）を空回りするまでゆるめ、前面カバー⑯を取り外す。
  - d) フィンガード取付ネジ⑳（1カ所）をゆるめてフィンガード㉑を取り外す。
  - e) 冷却ファン㉒を引き出す。
  - f) 冷却ファンと接続しているコネクタ㉓を外す。
  - g) 新しい冷却ファンを逆の順序で組み込む。(f → e → d → c)
  - h) UPSの交流入力プラグ⑫を電源コンセントに差込み、運転スイッチ⑥を操作し、UPSを起動させる。ファンの回転と風向きを確認し、吸気方向であれば正常です。  
以上で交換作業は完了です。

#### IV. 各部名称とはたらき

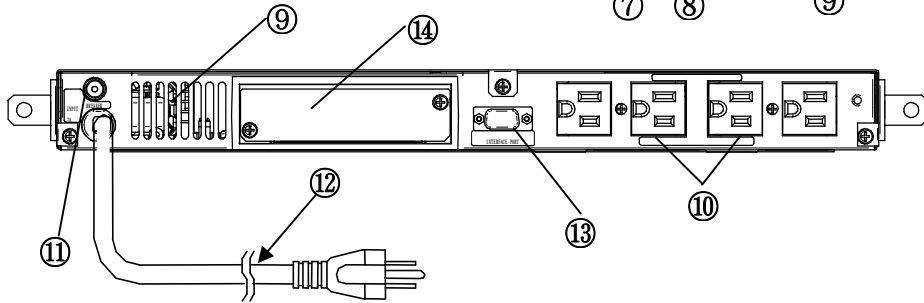
本装置の各部の名称と主なはたらきを説明します。

No	名称	主なはたらき
①	運転(RUN)	本装置が運転しているときに点灯（緑）します。
②	故障(ALARM)	本装置内部に故障が発生したときに点灯（橙）します。
③	過負荷(OVER LOAD)	給電の容量が定格仕様を超えたときに点灯（橙）します。
④	バックアップ運転 (BACK UP)	バックアップ運転しているときに点灯（橙）します。
⑤	表示灯 バッテリー充電量/ バッテリーアラーム (BATTERY CONDITION)	バッテリーが正常なときは、点灯（緑）の種類（消灯・点滅・点灯）によって、充電量を示します。 バッテリーが異常なときは、点灯（橙）します。
⑥	スイッチ 運転/停止(   )	本装置の運転/停止を行うスイッチです。 約 1 秒以上押すたびに運転/停止を切り換えます。
⑦	スイッチ ブザーストップ/ リセット (RESET)	ブザーを停止させるためのスイッチです。 また、障害復旧後に本スイッチを 3 秒間以上押し続けることによって、障害状態をリセットできます。
⑧	スイッチ バッテリーチェック (BATTERY CHECK)	手動でバッテリーチェックを行うためのスイッチです。
⑨	通風孔	本装置内部を換気します。
⑩	交流出力コンセント	接続機器のプラグを接続します。 本装置の運転を開始すると交流電圧を出力します。
⑪	ブレーカ	接続機器の容量が <b>UPS</b> の最大定格を超えると、ブレーカがトリップしてボタンが飛び出します。リセットするときには、接続機器を停止させた後、このボタンを押し込んで下さい。
⑫	交流入力プラグ	入力電源に接続します。
⑬	インターフェースポート	<b>RS232C</b> 通信用ケーブルを接続するためのコネクタです。

メンテナンスマニュアル

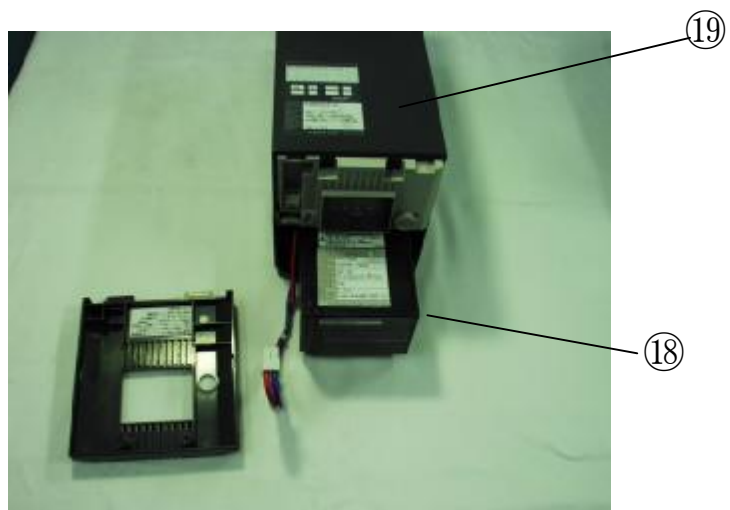
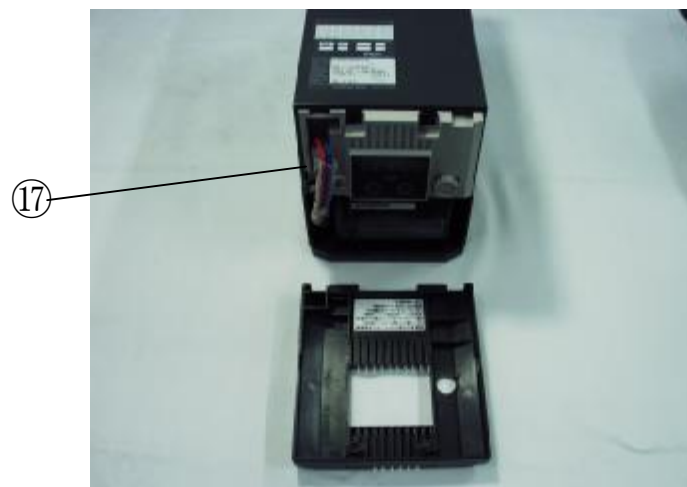


装置前面



装置背面

M-SPS005/007S



M-SPS007R

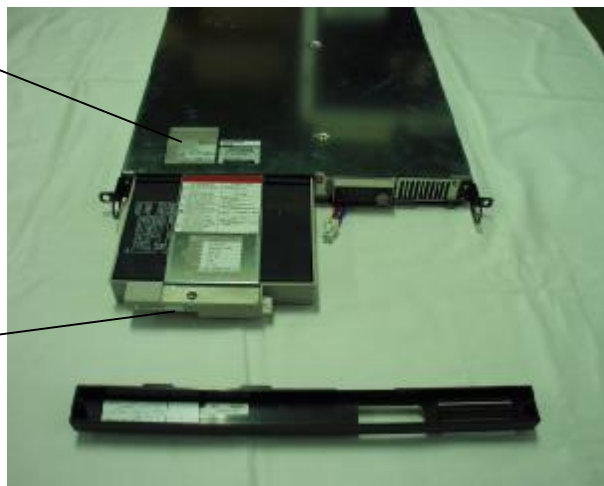


⑮

⑯



⑰



⑱

⑱



15

16



20

21



22

23